

# いばらきのご案内

Ibaraki Prefecture at a Glance



茨城県



# ■知事ごあいさつ/県の概要



茨城県知事  
大井川 和彦

時代は今、加速度的に進む人口減少をはじめ、混迷が深まる国際情勢やAIの驚異的な進化、長引く物価高などにより、大きな変化の只中にあります。

茨城県では、こうした激動の時代を見据え、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」の3つの基本姿勢を徹底し、経済の活性化や安心安全な生活基盤の確保などに全力で取り組んできました。

その結果、企業誘致では県外企業の立地件数が8年連続で全国第1位となり、観光消費額が過去最高額を3年連続で更新したほか、農産物輸出額や広告換算額は大きく増加しております。

こうした成果を背景に、2022年度の県民経済計算の推計結果において、本県の1人当たり県民所得が3年連続で全国第3位となるなど、本県の潜在能力の開花に繋がる変化が着実に芽生えてきております。

今後、環境が激変する時代にあっても、本県をさらに飛躍させていくためには、「過去の延長線上に未来はない」との考えのもと、これまでの改革路線をさらに強力に進めていくことが必要です。

このため、今年度を始期とする新たな県総合計画におきましては、「新しい豊かさ」「新しい安心安全」「新しい人財育成」「新しい夢・希望」のチャレンジをさらに進化させるとともに、本県に他地域にはない特長をつくるための「差別化」、本県の将来の発展を見据えた「インフラへの投資」、「多様な人財が活躍できる社会の実現」の3つの取組を特に重点的に推進し、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現を目指してまいります。

このパンフレットは、茨城県の概要を分かりやすく紹介するために作成したものです。さまざまな機会にご活用いただければ幸いです。



## ■主要河川・山岳・湖沼

河川名	総流路延長 (幹川延長) (km)	茨城県内 流路延長 (km)
利根川	322	133.96
鬼怒川	177	62.84
那珂川	150	46.50
久慈川	124	70.03
小貝川	112	75.60

山岳名	標高 (m)
八溝山	1,022
高笹山	922
栄蔵室	881
筑波山	877
和尚山	804
花園山	798
加波山	709

湖沼	面積 (km <sup>2</sup> )
霞ヶ浦	168.22
北浦	35.04
常陸利根川	15.33
廻沼	9.35
牛久沼	6.52

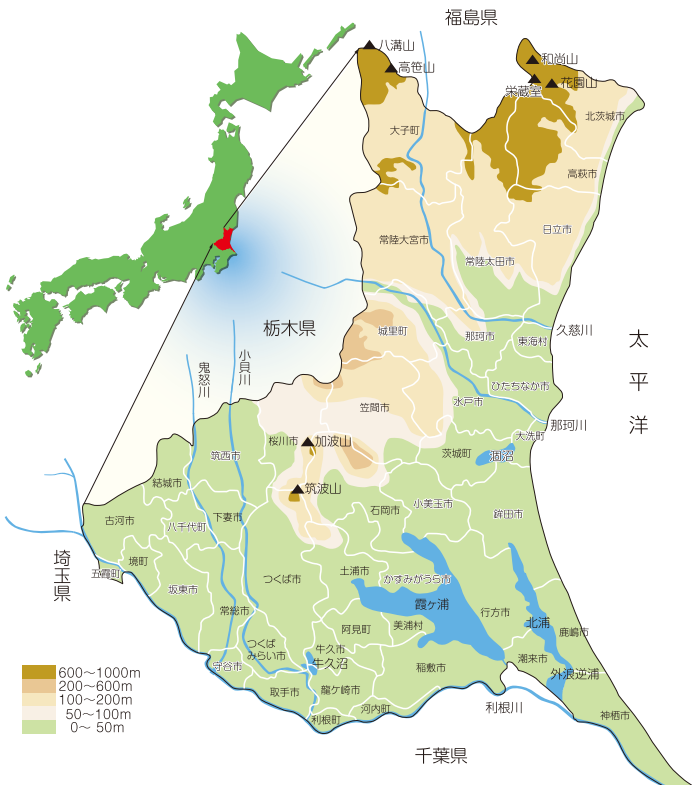
## ■茨城県の地形

北部から北西部にかけては、南北に阿武隈山地の南端部となる久慈山地・多賀山地の山々と八溝山地の山々が連なり、この間に山田川、里川、久慈川、那珂川とその流域の平地があります。八溝山地は北西県境にそびえる県内の最高峰八溝山(1,022m)にはじまり、南走して栃木県との境に起伏して加波山、筑波山に至っており、また多賀山地には、花園山、神峰山、高鈴山などがあります。

中央部から南西部にかけては、関東平野の一部である常総平野が広がり、そのなかを小貝川、鬼怒川が南流し、最南端を流域面積全国第1位の利根川が東流して、太平洋に注ぎ込んでいます。

南東部は、豊かな水をたたえた面積全国第2位の湖霞ヶ浦を中心とする水郷地帯となっています。

東部は、延長約195kmにおよぶ海岸線がのび、その間に茨城港(日立港区、常陸那珂港区、大洗港区)、鹿島港と漁業の拠点となっている大津、那珂湊、波崎等の漁港があります。



# ■茨城県のシンボル



## 県のマーク 県章

開きはじめて「ばら」のつぼみをデザインしたもので茨城県の「先進性」「創造性」「躍動」「発展」を表しています。平成3年11月13日に定められました。



## 県の花 ばら

茨城という地名にちなんで昭和41年3月28日に定められました。



## 県の木 うめ

県の木選定委員会が設けられ、県民から一番応募の多かった「うめ」が昭和41年10月6日に県の木として指定されました。



## 県の鳥 ひばり

昭和40年の愛鳥週間に「県民の鳥」を公募し、一番応募の多かった「ひばり」が昭和40年11月3日に県の鳥に指定されました。



## 県の魚 ひらめ

県のさかな選定委員会が設けられ、県民からの応募が最も多く、本県の重要な資源である「ひらめ」が平成7年6月1日に県の魚に定められました。

県の面積は6098.32km<sup>2</sup>で全国第24位ですが、平坦であるため可住地面積は、約3889.67km<sup>2</sup>と全国第4位の広さを持っています。

## ■茨城県の人口・世帯・面積

項目	世帯数(世帯)	総人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )
茨城県計	1,255,670	2,778,975	6098.32

項目	世帯数(世帯)	総人口(人)
<b>市 部</b>		
水戸市	128,700	265,037
日立市	75,805	158,742
土浦市	68,749	141,368
古河市	60,405	135,886
石岡市	29,153	67,946
結城市	20,493	48,222

龍ヶ崎市	34,261	73,790	筑西市	40,266	95,898	久慈郡	
下妻市	18,080	41,048	坂東市	20,168	50,194	大子町	5,921 13,266
常総市	23,990	58,018	稲敷市	14,853	35,212	<b>稲敷郡</b>	
常陸太田市	18,733	43,349	かすみがうら市	16,326	38,020	美浦村	5,839 13,269
高萩市	11,225	24,732	桜川市	13,606	35,124	阿見町	22,797 50,770
北茨城市	17,059	38,133	神栖市	43,141	92,927	河内町	2,827 7,131
笠間市	30,563	69,959	行方市	11,314	28,976	<b>結城郡</b>	
取手市	49,340	103,468	鉾田市	19,510	43,357	八千代町	7,904 20,060
牛久市	37,164	82,902	つくばみらい市	22,260	51,638	<b>猿島郡</b>	
つくば市	126,763	263,206	小美玉市	19,239	46,175	五霞町	3,064 7,444
ひたちなか市	69,825	151,394	<b>東茨城郡</b>		境町	9,568 23,888	
鹿嶋市	28,996	63,396	茨城町	12,187	29,290	<b>北相馬郡</b>	
潮来市	11,001	25,509	大洗町	6,715	14,316	利根町	7,282 15,051
守谷市	30,006	70,152	城里町	6,952	16,343	世帯数・総人口は令和8年4月1日現在 総面積は令和8年1月1日現在 可住地面積は令和6年度現在 資料：茨城県常住人口調査 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」 総務省統計局「社会生活統計指標」	
常陸大宮市	15,528	35,521	<b>那珂郡</b>		東海村	16,350 37,461	
那珂市	21,742	51,387					

# ■茨城県の歴史・文化・伝統工芸

## ■ 歴史

### History

茨城県は、古来から多くの人々が豊かに暮らしており、約1,300年前に編纂された常陸国風土記に「土地広く、土が肥え、海山の産物もよくとれ、人びとは豊かに暮らし、常世の国のようだ」と書かれています。

中世においても、この地域には有力な武将が居を構え、近世（江戸時代）には、水戸藩や土浦藩などの諸藩や天領が置られました。また、近世には、全国的に多種多量の物資が水陸交通を通して流通しましたが、本県域も全国経済圏の重要な拠点として発展し、学問や芸術が栄えました。

江戸幕府崩壊後、1871年の廃藩置県により、水戸県や土浦県など16の県が設置され、同年11月、県の統廃合により、初めて「茨城県」が誕生しました。その後も統廃合が進み、1875年5月にほぼ現在の規模の茨城県になりました。



## 11月13日 茨城県民の日

県民の日は、1871（明治4）年11月13日に「茨城県」という県名が初めて使われたことにちなみ、県民一人一人が郷土茨城についての理解と関心を深め、より豊かな生活と県の発展を願う日として、1968（昭和43）年に定められました。

### 常陸国風土記とは

風土記は、諸国の文化、伝承、地理などを記した地方誌のこと。713年（奈良時代）、元明天皇より諸国に編纂の詔が出されました。現存しているものは全国で5つ（常陸国・出雲国・播磨国・豊後国・肥前国）だけで、常陸国風土記は東日本で唯一残る貴重な文化遺産といわれています。常陸の名の由来をはじめ、筑波山や鹿島神宮など、各地の由来や伝説などについて記されており、1300年の時を超えた歴史ロマンを感じさせてくれます。



写真提供：茨城県立歴史館

## ■ 文化

### Culture

茨城県には、偕楽園や鹿島神宮などの文化遺産が各地に遺されています。また、日本画の横山大観、近代陶芸の板谷波山、童謡作詩の野口雨情などの偉大な先人を多数輩出しました。

これらの文化的風土に育まれた伝統を踏まえ、本県は近代美術館、自然博物館、アクアワールド・大洗などでの企画・展示や県芸術祭の文化芸術活動を活発に行っています。

人々の価値観の多様化が進む中、人と人との絆の大切さが再び強く意識されるようになり、物の豊かさに加えて心の豊かさ、潤いのある生活を実現することが求められています。県では2015年12月に制定した茨城県文化振興条例に基づき、県民一人一人が主役となった本県文化の振興に取り組んでいます。



▲東国三社の一つに数えられている鹿島神宮

## ■ 伝統工芸

### Traditional handicrafts



### 結城紬

結城市・八千代町・下妻市・筑西市

（S31 重要無形文化財指定・S52 国伝統的工芸品指定・H22 ユネスコ無形文化遺産登録）

千年を超える歴史を持つ結城紬は、糸つむぎや機織り等、その工程のほとんどを手作業で行っており、優れた品質と肌触りや風合いの良さを生む技術が、いまなお厳格に受け継がれています。



### 笠間焼

笠間市ほか8市2町

（H4 国伝統的工芸品指定）

江戸時代に遡る歴史を持つ笠間焼は、伝統を受け継ぎながらも作家の個性を重んじ、新たな技法や発想を柔軟に取り入れる自由闊達な空気の中、伝統的な器に限らず、芸術的な作品まで広範囲に創作が及んでいます。



### 真壁石燈籠

桜川市

（H7 国伝統的工芸品指定）

室町時代末期に始められた仏石作りが起源とされ、柔らかく繊細な彫刻と重厚かつ堅牢な存在感が特徴であり、苔がつくことで一段とその持ち味が生かされ、日本庭園等に優雅さと趣を醸し出します。

# ■茨城県の産業 農林水産業 / 商工業

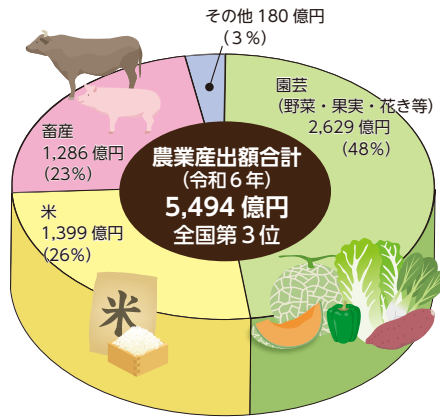
## 茨城県の農林水産業「豊富な農林水産物の魅力発信」

【農業】 本県は温和な気候と広大で平坦な農地に恵まれ、農業が盛んです。

令和6年農業産出額では、米が26%、園芸が48%、畜産が23%を占めており、大消費地である首都圏に位置しているなどの有利な条件を生かして、野菜、果樹、花き等の生産が盛んにおこなわれていることから、園芸の割合が高くなっています。かんしょやピーマン、メロン、れんこんなど全国第1位の産出額を誇る品目が数多くあり、梨やくり、米やほしいもの生産も盛んな全国有数の農業県です。

また、銘柄畜産物として常陸牛、常陸の輝き、ローズポーク、奥久慈しゃもなどが生産され、特に常陸牛はタイ、ベトナム、シンガポール、アメリカへ輸出もされています。

このように多種多様な農業が営まれ、本県は、農産物の一大生産拠点として、首都圏の食料供給に重要な役割を担っています。



(令和7年12月23日公表値)  
出典：農林水産省「生産農業所得統計」

【林業】 本県の森林面積は、約19万haで、県土面積の約3分の1を占め、県北部を中心とする山岳林と、県中央部から南西部にかけての平地林に区分されます。

山岳林は、スギ、ヒノキなどの人工林を中心に本県の代表的な林業地帯を形成し、平地林は都市近郊に位置することから都市住民の憩いの場など、生活環境保全のための森林としての役割を担っています。

【水産業】 本県は、約195kmにおよぶ海岸線を有し、その沖合では黒潮と親潮が交錯し、好漁場が形成されています。沖合漁業ではまいわしやさば類、茨城あんこう、沿岸漁業ではしらすやひらめ、鹿島灘はまぐりなどが漁獲され、海面漁業生産量は全国第3位(令和6年)となっています。また、水産加工品の生産も盛んです。

全国第2位の広さを持つ霞ヶ浦や、涸沼、那珂川、利根川などの湖沼や河川での内水面漁業も盛んで、あゆやしらうお、しじみなどが漁獲されています。

水産物 単位：トン、% (令和6年)

順位	品目	生産量	全国シェア
全第1位	まいわし	208,258	31.3
	あゆ(内水面)	267	18.9
	しらうお(内水面)	194	86.2
	うなぎ(内水面)	14	26.4
	こい(養殖)	629	38.9
全第3位	こい(内水面)	10	12.3
	はぜ類(内水面)	6	10.2
	しじみ(内水面)	960	10.1
	えび類(内水面)	6	10.0

農産物 単位：億円、% (令和6年)

順位	品目	本県産出額	全国シェア
全第1位	かんしょ	337	30.4
	はくさい	204	30.0
	ピーマン	159	23.8
	メロン	152	21.5
	ほしいも	132	100.0
	れんこん	95	47.5
	こまつな	75	22.7
	みずな	51	41.1
	切り枝	49	19.4
	芝	37	52.9
全第2位	チンゲンサイ	27	25.2
	くり	26	22.8
	鶏卵	366	6.3
	レタス	159	16.1
全第3位	日本なし	73	9.7
	もやし	25	4.4
	みつば	10	12.2
	らっかせい	7	8.4
	ねぎ	138	8.4
	ほうれんそう	72	8.6
	にら	39	11.3
	スイートコーン	25	6.9
	マッシュルーム	10	11.8
	そば	6	6.9
	そらめ	5	8.8

## 茨城県の商工業「競争力あふれる産業大県づくりの推進」

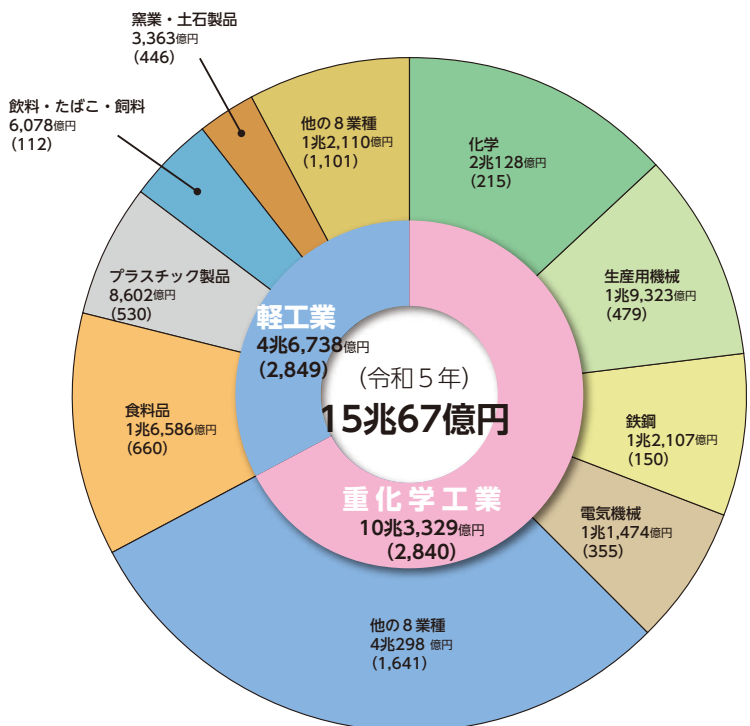
茨城県の商工業は、積極的な企業誘致による工業団地、住宅団地の整備にも支えられ、順調に発展してきました。特に工業においては、県北地区の電気機械を中心にしたものづくり産業や、国内有数の産業集積を誇る鹿行地区の鹿島臨海工業地帯に加え、県西地区における自動車関連産業、つくば地区の最先端科学技術など、全国でも指折りの工業県となっています。

工業の現状を製造品出荷額等からみると、令和5年は全国第8位の15兆67億円でした。業種別では、化学が13.4%で最も多く、以下、生産用機械12.9%、食料品11.1%、の順となっており、これら3業種で全体の3分の1を超えています。

人口の減少や業界の再編など経済・産業構造の変化が進む中、産学官の連携による新技術・新産業の創出や、デジタル技術を活用したビジネス創出が進められています。

一方、商業の現状を年間商品販売額でみると、令和5年は全国第14位の7兆3,428億円でした。社会構造の変化や消費者ニーズの多様化が進む中で、サービス産業の生産性向上や地域社会の課題への対応に軸足を置いた地域商業の振興が求められています。

### ■産業中分類別事業所数・製造品出荷額等 (全法人事業所) (令和5年)



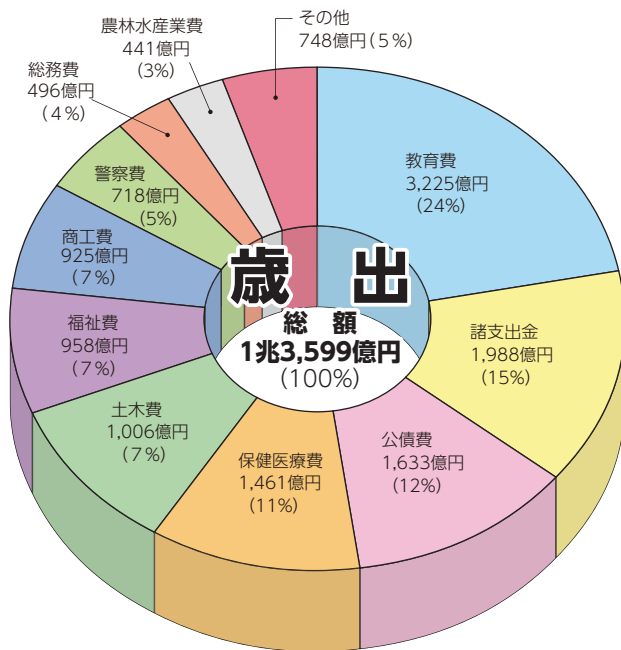
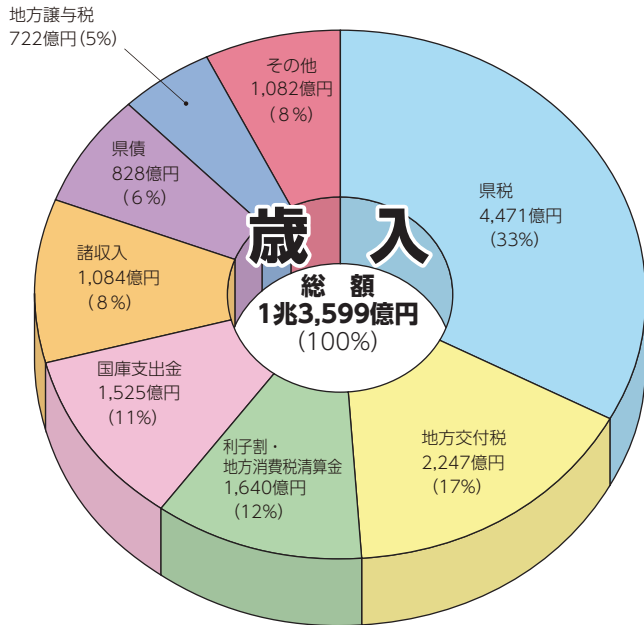
事業所数総計 5,689か所 (令和6年6月1日現在) 資料：総務省・経済産業省 2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)

※製造品出荷額等の内訳については単位未満を四捨五入しています。このため、合計と内訳の計は一致しない場合があります。  
※( )内の数値は事業所数を示します。

## ■財政

令和8年度予算

Finance



## ■県の組織

A prefectural organization

### 県議会

茨城県内に住む人々によって選出された議員が、県の予算・条例等について審議・決定する。

### 知事

議会で審議した条例や予算に基づいて実際に仕事を進める。各部、各課所で仕事を分担している。

### 副知事 (2名)

### 各部局

- 総務部
- 政策企画部
- 県民生活環境部
- 防災・危機管理部
- 保健医療部
- 福祉部
- 営業戦略部
- 立地推進部
- 産業戦略部
- 農林水産部
- 土木部
- 会計事務局

### 公営企業管理者

### 企業局

市町村への水道用水の供給や、工業用水の供給などを行う。

### 病院事業管理者

### 病院局

県立病院の運営を行う。

### 行政委員会

県の仕事のうち、特に公平で中立であることが求められるものは、何人かの委員で協議しながら業務を行っている。

### 教育委員会

### 教育庁

### 公安委員会

### 警察本部

### その他行政委員会

選挙管理委員会 監査委員 人事委員会 労働委員会  
茨城海区漁業調整委員会 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会  
内水面漁場管理委員会 収用委員会

# 第3次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～（4年間／2026～2029年度）

令和8年度からの4年間（将来構想は2050年頃を展望）の県政運営の基本方針となる第3次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～を策定しました。

県民の皆様には、この計画を「自分のこと」として考え、ともに「新しい茨城」づくりに取り組んでくださいますようお願いいたします。

## 茨城の将来像 基本理念

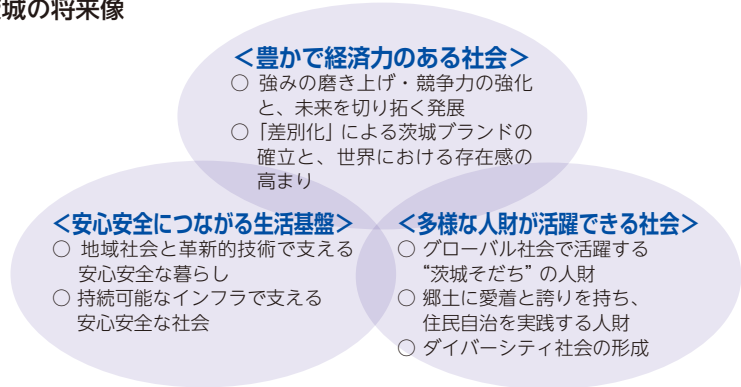
### 活力があり、県民が日本一 幸せな県

加速する人口減少時代においても、県民一人ひとりが本県の輝く未来を信じ、「茨城に住みたい、住み続けたい」人が大いに増えるような、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に挑戦します。



## 茨城のグランドデザイン（2050年頃）

### 茨城の将来像



### 茨城の発展を支えるインフラ

#### <道路・鉄道・公共交通機関等>

- ◆ 広域交流と地域間連携を支えるネットワークの構築
- ◆ 東京都心とのアクセス向上と、東京圏を中心とした経済圏・生活圏の県内への拡大

#### <港湾・空港>

- ◆ 産業を支え国内外と夢をつなぐ首都圏のニューゲートウェイ

#### <暮らしを支えるインフラ>

- ◆ 県民の命と財産を守るインフラの整備・長寿命化

## 「新しい茨城」づくりに向けた4つのチャレンジと特に重点的に進める3つの取組

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向け、4つの「チャレンジ」を推進します。

特に、「差別化」「インフラへの投資」「多様な人財が活躍できる社会の実現」の3つの取組を重点的に進めます。

### 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- ◆ 質の高い雇用の創出
- ◆ 新産業育成と中小企業等の成長
- ◆ 強い農林水産業
- ◆ 世界に飛躍する茨城
- ◆ 自然環境の保全・再生

### 「新しい安心安全」へのチャレンジ

- ◆ 県民の命を守る地域保健・医療・福祉
- ◆ 健康長寿日本一
- ◆ 障害のある人も暮らしやすい社会
- ◆ 安心して暮らせる社会
- ◆ 災害・危機に強い県づくり

### 「新しい人財育成」へのチャレンジ

- ◆ 次世代を担う「人財」
- ◆ 魅力ある教育環境
- ◆ 日本一、子どもを産み育てやすい県
- ◆ 多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会
- ◆ 外国「人財」に選ばれ、共に成長する秩序ある共生社会

### 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- ◆ 魅力発信No.1プロジェクト
- ◆ ビジット茨城～新観光創生～
- ◆ 若者が集い、「楽しさ」あふれる茨城
- ◆ デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
- ◆ 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち

### 特に重点的に進める3つの取組

本県に他地域にはない  
特長をつくるための「差別化」

本県の将来の発展を見据えた  
「インフラへの投資」

「多様な人財が活躍できる  
社会の実現」

## いばらき幸福度指標

● 県では、県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられることが幸せな状態であると考えます。

● そのような環境の整備・充実状況について、県民生活と関係が深く、個人の幸福と相関があると考えられる政府統計データ等により、定量的に把握しています。

### いばらき幸福度指標による

本県の全国順位(2025) **13位**



#### チャレンジ別順位

豊かさ **5位**      人財育成 **4位**  
安心安全 **44位**      夢・希望 **11位**

#### 【指標の例】

県民所得（県民1人当たり）、健康寿命、子どもの運動能力、若者就職者超過率等

# ■茨城の交通ネットワーク 陸・海・空



## 1 茨城空港

(小美玉市)

茨城空港は、平成22年3月に開港しました。現在は、札幌、神戸、福岡、那覇への国内線と、韓国への国際線が就航しており、北関東の空の玄関口として、多くの観光客等を受け入れております。

空港ターミナルビルでは、出発ロビー、到着ロビーを1階に集約しており、フロアを移動することなく航空機へ搭乗できるため、高齢の方やお子様連れの方も快適にご利用できます。



## 2 茨城の港

(日立市・東海村・ひたちなか市・大洗町・鹿嶋市・神栖市)

### 2-1 茨城港

(日立港区・常陸那珂港区・大洗港区)

茨城港は、日立港区・常陸那珂港区・大洗港区の3港区で構成されています。

各港区の特長を活かし、建設機械・完成自動車などの輸出入拠点やフェリー・クルーズ船の寄港など物流・交流拠点として発展を続けています。

### 2-2 鹿島港

鹿島港は世界有数の掘込港湾で、首都・東京へ1時間あまりで連絡でき、首都圏の東の玄関口となっています。鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の海上輸送基地として役割を担っています。

穀物の輸入量は全国第1位であり、私たちの食生活にも深く関わっています。



## 3 つくばエクスプレス沿線のまちづくり

(つくば市・つくばみらい市・守谷市)

つくばと秋葉原を最短45分で結ぶつくばエクスプレス(TX)は平成17年8月の開業以降、多くの方々に利用されています。沿線地域では新しいまちづくりが進み、住宅や商業施設が多数立地するとともに人口増加の傾向が見られるなど、賑わいを見せています。今後も人・モノ・情報の交流がますます活発になり、地域の一層の発展が期待されています。



茨城JCT



つくばJCT

## 4 県土を支える4本の高速道路

高速道路は、豊かで活力ある地域社会の形成及び広域的な連携を支えるうえで必要不可欠な基盤施設です。

県内には常磐自動車道(常磐道)、北関東自動車道(北関東道)、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)、東関東自動車道水戸線(東関東水戸線)の4本の高速道路があり、このうち、東関東水戸線の未開通区間の整備や圏央道の4車線化が進められています。

# ■施設のご案内

## 5 ミュージアムパーク茨城県自然博物館

(坂東市)



松花江マンモス

自然豊かな菅生沼のほとりに立地する博物館です。「進化する宇宙」や「地球の生い立ち」、「自然のしくみ」などを展示する常設展示と年に3回程度開催する企画展示では、自然の偉大さや不思議さを学ぶことができます。

## 6 アクアワールド茨城県大洗水族館

(大洗町)



イルカ・アシカショーライブ

サメの飼育種類数最大級を誇り、約20,000匹のイワシが光と音に合わせて躍動する「IWASHI LIFE」、映像・照明・香りの演出による幻想的な雰囲気のカラゲ大水槽「くらげ365」など見どころが満載。令和8年3月には、「イルカ・アシカオーシャンライブ」を大幅リニューアルし、訪れるたびに新しい驚きや感動がある水族館へさらに進化しました。

## 7 茨城県陶芸美術館

(笠間市)



笠間芸術の森公園内にある陶芸専門の美術館です。板谷波山や松井康成など国内で優れた業績を残した陶芸家の作品を常設展示しています。また、国内外で活躍する近現代の作家の作品を鑑賞できるよう、幅広いテーマで企画展を開催しています。

## 8 茨城県植物園 THE BOTANICAL RESORT 林音(リンネ)

(那珂市)



泊まる・食べる・遊ぶなどの体験をひとつの場所で楽しめる「日本初の泊まれる体験型植物園」です。

美しい木々に囲まれた宿泊施設のほか、ハーブが香るお風呂やサウナ、茨城県産食材を使ったメニューが充実のレストラン、県民の森の自然と触れ合えるアクティビティなどを、宿泊・日帰りを問わず気軽に楽しめます。

# イラストマップ

■袋田の滝  
大子町



■茨城県立歴史館  
水戸市



■偕楽園  
水戸市



■茨城県植物園  
THE BOTANICAL RESORT 林音(リンネ)  
那珂市



■古河総合公園  
古河市



■いばらきフラワーパーク  
石岡市



■筑波山



■霞ヶ浦



■六角堂  
北茨城市



■花貫渓谷  
高萩市



■国営ひたち海浜公園  
ひたちなか市



■大洗海岸  
大洗町



# ■県庁舎のご案内

## ■県庁見学ご案内

\* 開庁日に見学していただける施設は、次のとおりです。

県庁舎	県政広報コーナー 1	2階(所要時間) 5分
	県政広報コーナー 2	2階 10分
	アトリウム	11階 5分
	展望ロビー	25階 10分
県議会議事堂	議会PRコーナー	1階 5分
	傍聴席	5階 5分

※ 議会開催中は除く。

県警察本部庁舎	広報センター	2階 15分
---------	--------	--------

\* 事前予約が必要な施設は、次のとおりです。

県庁舎	県政シアター	2階 15分
	防災センター	6階 15分
県警察本部庁舎	通信指令室	4階から 10分
	交通管制センター	4階から 10分

\* 団体で案内をつける県庁舎の見学を希望される場合には、事前に予約が必要です。詳しいことは、県ホームページ「県庁舎団体見学のご案内」をご覧ください。

茨城県庁 見学 検索

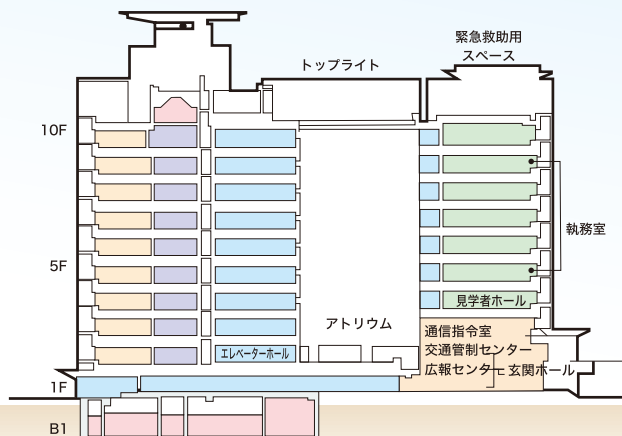
\* バスでお越しになる場合には、係員の指示によりバス駐車場をご利用ください。

\* 県警察本部庁舎の見学は、県警察本部県民安心センターへお問い合わせください。

● 県警察本部 TEL 029-301-0110(代)

- 着工 平成8年1月
- 竣工 平成10年12月(外構等竣工 平成11年3月)
- 開庁 平成11年4月8日

## 県警察本部庁舎



## 県政広報コーナー (県庁舎2階)

県民の皆さんと県との交流の場です。  
生活に必要な情報や県の仕事に関する情報を提供しています。

● 県政広報コーナーは自由に見学できます。  
開庁日/8:30~17:00 閉庁日/10:00~17:00



◆ 県政広報コーナー1  
茨城県内で開催されているイベントや、県内のプロスポーツチームやテレビ・映画のロケ地などを紹介しています。  
休憩スペースも利用できます。



◆ 県政広報コーナー2  
県が取り組んでいる様々な仕事を、広報パネル等を使って、紹介しています。



◆ 県政シアター  
大きな画面で、県の仕事や将来の姿などを紹介する映像を見ることができます。

## 防災センター (県庁舎6階)

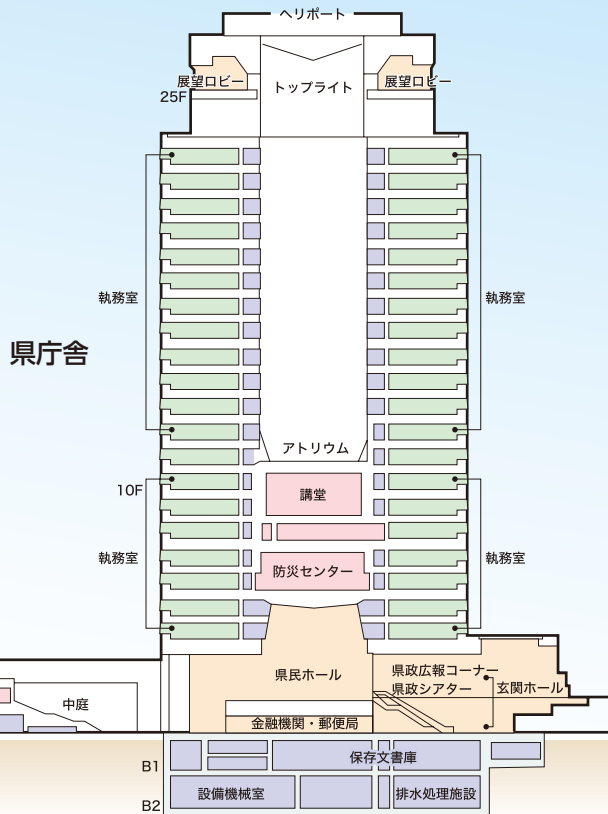
洪水や地震などの災害から県民を守り、被害を少なくするために、すばやく情報を集め、災害対策をします。

● 見学には予約が必要です。(開庁日のみ)



## 行政情報センター (県庁舎3階)

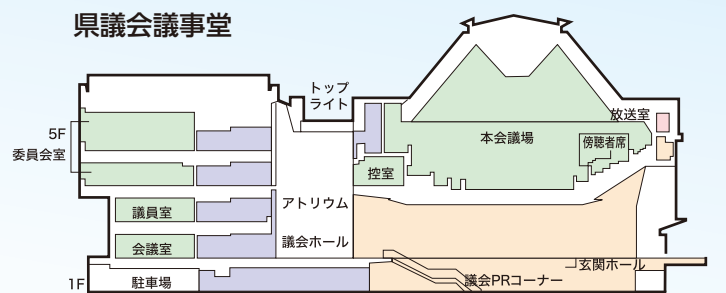
県の仕事に関する資料を揃えています。  
自由にご利用ください。  
開庁日/8:30~17:00



■ 建物概要

敷地面積	約15ha		
建築面積	県庁舎 6,800㎡	県議会議事堂 4,400㎡	県警本部庁舎 2,700㎡
延床面積	81,000㎡	16,200㎡	24,900㎡
階数	地上25階 地下2階	地上5階	地上10階 地下1階
高さ	116m	39m	49m
主な構造	鉄骨造	鉄鋼鉄筋 コンクリート造	鉄骨造
主な外観	花崗岩・タイル	花崗岩	花崗岩・タイル

県議会議事堂



展望ロビー（県庁舎25階）



地上約100mの高さから、茨城県の風景を眺めることができます。パネルなどを使って展望案内や、茨城の自然を紹介しています。

●展望ロビーは自由に見学できます。

開庁日  
9：30～22：00

閉庁日  
10：00～22：00



県庁25階展望ロビーから見える風景

水戸市内など関東平野の様子がよく見えます。

西



〔北方向〕

水戸市街  
偕楽園  
水戸芸術館  
日立エレベーター研究塔  
など

北



〔西方向〕

筑波山  
加波山  
笠間市  
日光連山など

〔東方向〕

太平洋  
大洗マリントワー  
ひたち海浜公園  
など



南

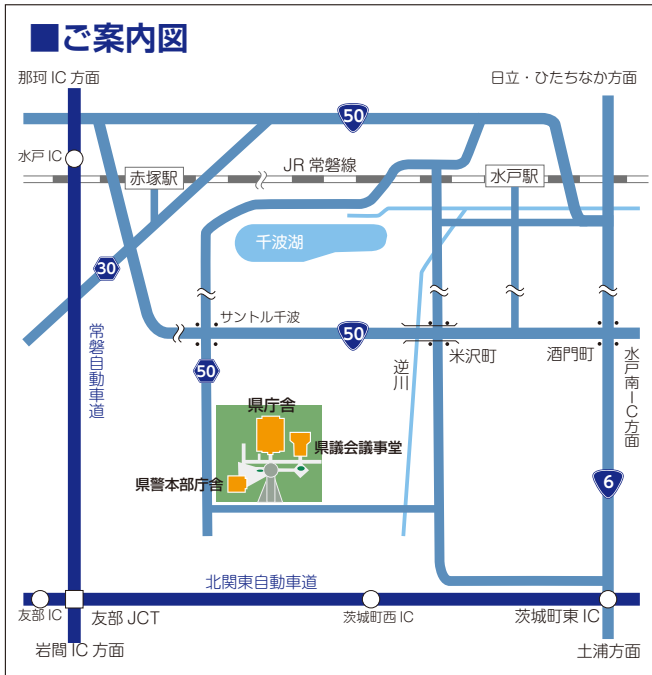


〔南方向〕

土浦市  
筑波研究学園都市  
牛久大仏  
など

東





- [バス]** 県庁直行のシャトルバスを運行  
 JR水戸駅〔南口〕から 約6.6km 所要時間/約15分～20分(土、日、祝日は休み)  
 JR赤塚駅〔南口〕から 約7.2km 所要時間/約20分～25分(土、日、祝日は休み)
- [自動車]** 常磐自動車道水戸ICから約9.0km 所要時間/約15分  
 北関東自動車道茨城町東ICから 約4.0km 所要時間/約10分

## ■広報案内

### ●テレビ 「いばらき推し」

テレビ朝日 毎週金曜日 10:35頃 2分間(本編)  
 毎週水・木曜日 5:50頃 30秒間(ダイジェスト版)  
 毎週金曜日 10:20頃

いばらきの特産品や観光スポットなど、本県の魅力を紹介します。

### ●ラジオ Lucky FM FM94.6MHz(水戸) 88.1MHz(つくば、日立)

題名	放送時間
ラジオ県だより ～県民情報コーナー～	県の施策や催し物のお知らせ(5分間) 月～金曜日 7:30 11:55 17:55
県政スポット	県の施策をCM風に紹介(各時報前の20秒) 月～金曜日 8:00 10:00 18:00

### ●ホームページ <https://www.pref.ibaraki.jp/> 県の魅力と暮らしの情報を届ける総合サイトです。

### ●X・Facebook・LINE

県に関するさまざまな情報を発信しています。

X : @Ibaraki\_Kouhou

Facebook : 「茨城の魅力を伝えたい」  
 : 「茨城県」

LINE : 「茨城県庁」



▲ホームページは  
こちら

### ●広報紙「ひばり」年12回発行

主に新聞折り込みにより配布しています。  
 ホームページからご覧いただけます。

### ●点字版「ひばり」・声の広報「ひばり」

点字版「ひばり」と声の広報「ひばり」(CDやカセットに内容を収録)を、視覚障害がある方に、希望により配送や貸し出しを行っています。

【問】茨城県視覚障害者協会 TEL 029-221-0098  
 声の広報は、ホームページからもお聞きいただけます。



▲詳しくはこちら



▲詳しくはこちら

### ●YouTubeチャンネル「いばキラTV」

<https://www.youtube.com/@IbakiraTvCH>

観光地やグルメ、地域情報など茨城県のさまざまな魅力を動画で紹介。VTuberやインフルエンサーの企画も多数配信。



茨城県公認VTuber  
「茨ひより」

YouTube

※パソコン・スマートフォンなどからご覧いただけます。

## 茨城県総務部知事公室広報広聴課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6  
 TEL 029-301-2140 FAX 029-301-2169  
<https://www.pref.ibaraki.jp/>